

寛永行幸四百年祭 四百年前の技術に学ぶ ～寛永×伝統産業 講座及び事業者交流会を開催～

■ 寛永行幸四百年祭実行委員会（事務局：京都府）では、来年度開催する「寛永行幸四百年祭」へ多くの主体に参画いただくための取組の一環として、四百年前の寛永行幸に携わった職人たちの技術などについて学ぶ講座と事業者交流会を1月28日に開催しますので、周知と取材をお願いします。

1 日時

令和8年1月28日（水）10時～11時45分（9時30分開場）

2 場所

京都経済センター 6階 会議室6-B
（京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78）



3 内容

①寛永行幸四百年祭とは

講師：^{はまさき}濱崎 ^{かなこ}加奈子（寛永行幸四百年祭実行委員会 プロデューサー）

②寛永行幸とは

講師：^{にしやま}西山 ^{つよし}剛（京都文化博物館 主任学芸員）

③二条城行幸図屏風にみる小袖のデザイン

講師：^{さねかた}実方 ^{ようこ}葉子（泉屋博古館 学芸部長）

④装束再現のポイント

講師：^{やましな}山科 ^{ときちか}言親（衣紋道山科流若宗家 山科家30代後嗣）

⑤事業者交流会

4 対象

「寛永行幸四百年祭」に関心のある個人や事業者等

5 参加方法

専用サイト（Peatix）から申込 ※定員になり次第受付終了
申込期間 令和8年1月9日（金）10時～1月27日（火）

URL：<https://peatix.com/event/4761928>



6 定員

先着 70 名（参加無料）

7 取材について

取材を希望される場合は、9 時 50 分までに会場受付へお越しください。

8 主催等

主催：寛永行幸四百年祭実行委員会（文化庁連携プラットフォーム内）

共催：Living History KYOTO

【参考】

○ 寛永行幸

寛永 3 年（1626 年）9 月に大御所・徳川秀忠と 3 代将軍・徳川家光の招きに応じた後水尾天皇による二条城への行幸。当時最大級のイベントであり、書物や絵巻などで記録に残され、後世に語り継がれてきた。

○ 寛永行幸四百年祭実行委員会

「寛永行幸四百年祭」の実施を通じた「寛永行幸」及び「寛永文化」の普及・啓発や二条城の新たなブランドの確立等により、京都をはじめとする日本の伝統文化の継承や担い手の育成、伝統産業の振興等をつなげ、「文化と経済の好循環」を実現し、その全国のモデルケースを創出することを目的とし、文化庁連携プラットフォーム内で組織した団体。

○ 文化庁連携プラットフォーム

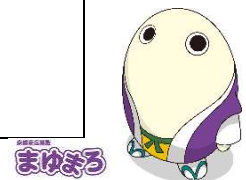
文化庁京都移転の意義の実現に向けて、文化庁との連携による新たな文化政策の展開や、世界に向けた日本文化の発信等を行政、経済界、文化団体等が一体となって展開し、日本文化の国際的な価値を高めることを目的とし組織した団体。

【本報道発表に関するお問合せ】

文化庁連携プラットフォーム（京都府文化政策室内）

文化生活部副部長兼文化政策室長 梅原 TEL 075-414-4215

文化政策室 企画参事 須田 TEL 075-414-5071





2026年

1
/ 28
(水)

寛永事業 × 伝統産業 交流会

四百年前の寛永行幸では、準備のために2年半の歳月をかけて二条城が大幅に増改築され、街道が整備され、行列のための晴れの装束や乗り物、贈答品や食にかかわるものなど、当時の職人たちがあらゆる技術を集結し、行幸を成功させました。

このたび、当時の記録に基づきながら装束や装飾品を再現する試みがスタートいたしました。

四百年前の技術に学びながら、私たちは四百年後に何を残すことができるのか、一緒に考え、取り組みの輪を広げていくことができましたらと考えています。

時 間

10:00～
(開場9:30、終了11:45)

会 場

京都経済センター 6階 6-B
(下京区四条通室町東入函谷鉾町78)

定 員

70人程度



参加無料

事前申し込み要
Peatix⇒

問合せ

info@kaneigyoko400.jp
080-9923-4252
(実行委員会事務局 土日祝除く 10:00～16:00)

内 容

- 寛永行幸四百年祭とは
寛永行幸四百年祭実行委員会
プロデューサー 濱崎加奈子
- 寛永行幸とは
京都文化博物館主任学芸員 西山剛
- 二条城行幸図屏風にみる小袖のデザイン
泉屋博古館学芸部長 実方葉子
- 装束再現のポイント
衣紋道山科流若宗家山科家30代後嗣 山科言親
- 事業者交流会



晴れの室礼 (写真協力: 井筒企画)

主催：寛永行幸四百年祭実行委員会

(文化庁連携プラットフォーム内)

共催：Living History KYOTO

絵：「二条城行幸図屏風」部分 泉屋博古館所蔵



公式HP



X



Facebook



Instagram



本イベントは、文化庁令和7年度「文化資源活用事業費補助金(全国各地の魅力的な文化財活用推進事業)」の補助を受けて実施しています。